京城新報

温突迷語録（四）

歪の權太

◎朝鮮は由來世界の不潔國であるから一般人民は殆ど衛生の何物たるかを解して居ないのみならず不潔と云ふ感覺さへも全然彼等の頭裡には無い如くに思はれる、如何なる汚物腐敗物に對しても格別不快の刺激も受けず惡感も起らぬと見ゑて平然として此等の不潔物と同居して相親しんで居る、寢て居て小便して見たいとは、無性者の理想の極致を言ひ表はした文句であるが鮮人は其理想を實現して常に便器に添寢して居る程であるから其神經の鈍さ加減は實に驚き入る程であるが、然らばこの無感覺の無性者の鮮人をして常に衛生的に其清潔を保たしようとする衛生事業は絶對に失望に終る可きものであるかと云ふと決して然うではない、元來不衛生も不潔も其根本は無智なる習慣より來たものであるから若し之れに對する指導と奬勵との宜敷を得るならば如何樣にも改善發達を期する事が出來又其れが大した至難の事でも何んでも無い現に當市に於ける市街衛生の狀態を眞面目に研究し來るならば彼等鮮人の無性其者よりも問題は寧ろ其局に當る人々の努力と否とによつて決定せられて居ることが明かに了解される。

◎當市内にて除穢下水掃除又は死礫の處分など其他一般の市街衛生上に於て何處の管内が最も好成績を擧げて居るかと問ふと誰しも南部であると答ふるに躊躇せぬであろう、道路及び下水の構成上より其他總ての狀態に於て正に然る可き筈であるのだが實際は奇怪にも決して然うでなくて純鮮人町なる北部の管内に比較して劣ること數等の下位にある、通行の頻繁は大通りは固より問然すべき個處のある可き筈は無いが足一度裏通りや路次口に到らんか、塵芥と汚物と瓦礫とで不潔混亂を極めて居る、裏長屋や小路に在る塵芥箱の周圍は常に堆高き汚物と碌々たる瓦礫とに占領せられて塵芥箱其物の目的は單に塵捨場の標識に過ぎないで些しも其効用を爲して居ない。

◎閻魔齢俳句局より（一）

コツパ會同人諸君　俳亡者

去る八日俳亡者大往生を遂げた風を致候節は本願寺迄御會葬の風を致被下難有御禮申上候然る處在娑婆中罪のなき惡口を叩く事夥しかりしと云ふ點を以て兼て閻魔廳より差遣の青、赤、黒の三鬼に引き立てられアイゴー／＼と計り十萬億土行プラツトホームに着仕り先一驚を喫したるは其文明の進歩當底娑婆抔の夢想だにせざる事共に有之申候娑婆にては麻軌鐵道、飛行橋、自働車無線電話杯と騒ぎ居るも當方にてはツンナ物は五世紀計り以前の流行物にして今日にては大低古物館の装飾に過ぎざる哀れな末路に有之趣に候目下は雲行機、火の車、の二者最流行との事に候最も火の車、と申しても拙者娑婆在世中常に乘用せし者とは素より雲泥の差たる事勿論の儀と被存申候何れ乘車の上委しく申上可候雲行機是は即ち亡者共を十萬億土に運搬する娑婆の鐵道の如きものに有之申候號音と共に數千の亡者只見る朦々たる黒雲の如き雲行機に飛び乘る樣身の毛もよだつ計りに候拙者も時間逼迫の旨掛員の注意に依て中央にフンゾリ反り申候暫らくして雷の如き音響と同時に異臭鼻を撲て來る數千の亡者鼻を摘まゝぬ者一人も無之始末是を監督乘員青鬼君に問ふにアレは出發の合圖にして兼て亡者共の荒膽をひしく黄鬼の放屁なりとは實に振つた者と感服仕候普通は十時間急行は五時間にて地獄驛に到着致との事に有之申候拙者共は正午發急行に乘りたる事とて其早さ加減只々一度乘て御覧と云ふの外何とも形容出來不申候

文苑

◉コツパ會祝吟　仁川丹葉山人

冬の雲灰黒色に凄う飛ぶ
只山にかぶさるとのみ冬の雲
冬の雲雨ならむとし雪成らむとす
千ぎれ行くに月影疎ら冬の雲
冬の雲岳れ日の影寒う覆る
坪の内に山茶花凛と冬の雲
冬の雲裸木の梢すれ／＼に
電線の鳴る市遊ぶ冬の雲
海山の色別／＼に冬のくも
冬の雲日表數の小鳥啼くに
芥燒く煙道の上冬のくも
市に聳く松樵る山冬の雲
冬の雲靡く河畔の柳敷として
い、厭ふ女性に迫る冬の雲
霜除けの蘇鐵の覆ひに冬の雲
温突の烟り太しく冬の雲
河畔繁に何積む荷舟冬の雲
木の實類々窓打つ夕冬の雲

外事一束

▲駐米露大使米大統領に對し露皇帝は米國下院の米露通商條約破棄決議案を通過したるは露國を侮辱せる者と思惟せらると述べ大統領は元老院に該決議案の字句の修正若くは否決を要望せしも兩院民主黨議員は其の修正を拒絶す

▲伊國　政府伊土戰爭以來獨墺兩國の自國に對する態度の忠實に感謝を表す

▲墺伊　兩國間一種の默約必然成立の風說盛也蓋兩國の親善を證言する也と

▲議會　の閉會に當り英帝外交關係に就き詔書を下して曰く諸外國との狀態を繼續す條約上佛獨摩洛哥問題に關與せるも其解決を見しを喜ぶと

▲友愛

▲英帝　戴冠式を終りチヤーバル方面に向ひデリーを發し告別の皇礮砲轟天地



新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者九皐館去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御随意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十五日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は振つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

[illegible]
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　[illegible]
發行所　京城[illegible]　京城新報社
仁川支局　仁川宮町三丁目
東京支局　東京市京橋區南鍋町[illegible]

梁川庄八

第六十二回　小金井蘆洲 演

齋藤外記の脊藥舗才助は道柴の露踏分けて、遥々と江戸表へ着きました、暫く滯在をして諸方に梁川庄八を尋ねましたが、皆無知れません、そこで不圖思付ましたのが、人は何でも自分の好む道に偏する者である、梁川は大の法華宗の信者で御座いますから、ひよつとすると甲州の身延へでも參詣に行きはしないか、甲府は名高い城下であるから、然うすれば乾度滯在をするであらう、逗留をすれば例の宿札を懸るに違ひない、是は甲府へ行て見ようと考へた、江戸表を出立をして甲斐國を指して出掛けました、現今は中央鐵道線が完成して居から誠に輕便に這入れますが、昔時は甲州街道と云ふ不便な者でした、江戸から甲府迄里程にしては僅々卅六里しかないが旅馴れて居る人でも五日位ひ日間取つた者です、途中に小佛峠笹子峠杯と云ふ、峻嶮嶮山があつて却々越すのに難儀をした者だ、夫に惡漢が出没して危險な事が多かつたのです、齋藤外記は八王子を過ぎて恰度今小佛峠に差掛つて參りますと、

峠の中程親知らず子知らずと云ふ難所へ來ると、何やら人聲が聞へる　外『ハテ合點の行かぬ事だやと、急足で登詰めて見ると、這は抑も如何に盗賊と覺しき、十四五人連の男、たの／＼面体を包み長き刀を提げて八九人の旅人を、珠數繋ぎに繋いで、面々の懐を搜り荷ほ又荷物などを切解いて、金目の物を奪去らんとする有様、町人体の者は、何れも縛られて立木に繋止められ、身動きもならぬ容子でございますから、外記は之を見るより　外『扨は盗人なるか、世も太平に治り居る今日此頃、假令通行途絶したる山中なればとて、白晝に此有様は何事ぞ、人の危きを見て救ふは武士の本意なり』と急に侍根性を起して、賊と見たら片時も猶豫する事が出來ませぬ、腰に帶びたる彼の左文字の刀を引拔て、ヤア／＼汝等は太平無事の今日眞晝中旅客の財物を掠んとする、不屆至極の盗賊原、奪取つたる金品を棄て、速に此場を去らば好し、左もなくば一人も殘らず斬て捨るぞ』と大音上げて呼はつたり　賊『ヤイ人の仕事を邪魔する痴漢、汝は天から降たか、地から沸たか、目に物見せて呉れん、ソレ之を喰つて斃死れ』と矢庭に一人の盗賊斬てかゝつた、此時才助は、ヒラリと身体を捻して、彼の左文字の刀を取直すと見る間に、ヤツさ一聲斬り込めば、腕は冴へたり、彼の賊は受けるも引くもならばこそ、肩口よりザツクリ斬り込まれて急所の深傷に堂と倒れる、之れを見るより二人の盗賊左右より斬て掛れば、才助は右なる賊の小脇を掻潜つて、横に拂つた一文字脾腹に深く斬込んだり、堂と倒れる屍をタルリと廻つて、今一人を眞頭より鼻柱の邊まで物の見事に斬下げた、其手並に怖れてか殘れる數多の賊共　賊『ソレ逃げはん命あつての物種と何に一品奪得ずして、山から山へと猿の如く逃け上つて韋駄天走り一目散何處ともなく消失せました、才助は固より宿意のある譯ではないから長追ひはせず直ちに取て返して、彼の縛められた

る者共の小手を緩めて解放れば、何れも聲を擧げて嬉泣き大地に兩手を支かへ　一同『危い所をお救ひ下されて、誠に有難う存じます、私は江戸表日本橋金吹町に住みまする、町人丸屋傳左衛門と申すもの、日頃身延山に願を込め願滿ちてお禮詣に參詣致さうと存じます途中、ソレを盗賊共が豫て聞知り、網を張つて居るとも知らず、此峠へ差掛り今しも物品を奪去られんとする、折柄お助け下さいまして有難う存じます、貴方様は如何なる御身分の御方で御座りますか　才『私は奥州仙臺の熊野濟藥貿の才助と申す者で厶る假令賊にせよ、此通り三人も斬倒して見れば此儘に此處を越すことも出來ない、私しは固より吹けば飛ぶやうな商人だけれども、お前さんは名高い商人後日の面倒になつてはならぬから、是より取つて返し當所の地頭に訴へ出で、檢視を受け其筋に於て差構へない事となつてから、身延へ御參詣なさる方が御安心でございます　丸屋『御尤もさまでござります當所は八王子支配の處でございますから是れより八王子へ取て返した訴へ申します、就てはお禮は何程でも差上げますゆゑ貴方様も御同道なさるやう　才『固より拙者イヤ私は斬たに違ひないから此儘に行て了ふ譯には行かぬ、御同道致すは勿論の事でござる、夫れでは八王子に引返さうと云ふので丸屋傳左衛門一家八人各自に荷を擔げて八王子に宿に取て返し、横山町の龜屋傑左衛門方に宿を取て代官の大久保三右衛門殿へ訴出でました。



東京電報

▲米國政府の通牒 大統領タフト氏は露國政府が米國に歸化する猶太人に對し露國內の旅行券を附與するを拒絕したる結果千八百三十三年締結せられたる現行米露條約を來る千九百十二年限廢止する旨の通牒を露國政府に發せり

▲列國と媾和 在北京の日英米獨佛の五ヶ國公使協議の結果各本國の意見として二十日上海の各領事をして官革兩軍媾和代表者に對し爭亂の繼續するは支那自國及其人民のみならず諸外國及其人民の利益安寧を損傷するものなるが故嚴正中止の態度は依然保持するを以て速かに媾和成立を望むとの警告書を交付せしめたり、唐紹怡及伍廷芳も敬意を表して之を受けたり右覺書は日英調停と關係なしと

▲日瑞條約發表 廿一日日本瑞西間の通商及居住條約を發表す永代借地權の規定は之を削除せり

▲恩賜財團評議員會 恩賜財團濟生會にては過般桂公本邸に開かれたる懇談會にて明年度施設すべき事業計畫に付打合せたるが明年一月早々全國評議員會を召集し決定すべしと昨今調査中なり

▲文部省の法律案件 文部省より本期議會に提出すべき法律問題の主なる者は市町村制改正に伴へる地方學事通則を主として其他會計に關する二三の法律案件なり

上海電報

▲武漢の兩軍 武漢の兩軍は休戰し居れども日夜防備工事に汲々として勢力を競ひつゝあるは既電の如し革命軍は鸚鵡外地体に砲兵陣地を布き官軍は漢口下流に砲列を布き革命軍の渡航に備へ居れり

▲革軍大統領以下選擧 南京に於ける革命黨は孫逸仙の歸着を待たず共和政府設立に決し大統領以下投票の結果左の如く選擧したるが其他は未だ判明せず

大統領 黃興
總理大臣 宗敎仁
外務大臣 伍廷芳
陸軍大臣 黎元洪
財政大臣 張謇

▲芝罘の紛擾 芝罘は十八日夜來共和急進會事務所に於て同會役員及び軍政府役員等の催しつゝある秘密會議に於て急進會の主張により軍政府を廢し新に山東都督府を置く事に決し右事務所を之れに充て王總司令を都督となし承認を得んとしたるにより兩者の間に一時紛擾を惹起し遂に砲火を交ふるに至れり

▲媾和談判開始 官革兩軍の媾和使は十九日愈々談判を開始せり日英兩國領事多忙を極めつゝあり

雜報

●滿鐵明年度の事業 滿鐵の既定事業中來年度に於て實行すべき鐵道改良工事の內容を聞くに本線にありては長春停車場を始め各停車場の改築軌條の改良（從來の六十四ポンド軌條を八十ポンド軌條に改むるもの）測線の建設等にして安奉線に於ては假橋梁の改築（速成の都合上木橋を使用しつゝあるが漸次鐵橋に改築する工事）を第一とし昨今工事を進捗せしめつゝある停車場の完成工事其他廣軌線として輸送上に遺憾なからしむる諸般の施設をなすにあるが概して本支線を通じ運轉すべき車輛に不足を感じ居れるを以て是れ亦來年度に於て充實を計るべしと

●移出米の不振 每年十一月より十二月に掛けては米穀の移出時期とて移輸出港は埠頭移出米を以て山を築かれ居る有樣なるが本年は微々たるものにて釜山の如きは居留民の食用に供する丈けの出穀もなく爲めに態々群山木浦方面より輸送を仰ぎし由なるが之れが源因は地方農民の懷中暖かなるに依り從つて容易に米穀を手離しせざる等に依るならん而して鮮農民勞裡の暖かなるは移輸入商側に取つては好景氣を呈し移輸出商側は反對の狀態にありと某實業家は語れり

●水力電氣調査 洛東江の支流南江に向へる石原技手引率の實測班第二班及び北漢江に向へる足立技手一行の同第一班は冬期測量を繼續し大同江平壤以北上流に於ける水力地點踏査に向へる中大路技師一行は來る二十三四日頃皈任の筈尚錦江流域の踏査員は十九日已に皈任したり

●農作物と市場 本年の農作物は昨年に比し一般に豐作にして大豆は昨年度百八十一萬六千五百八十二石なりしもの今年は百九十六萬七千二百五十五石に增加し棉花は二百八萬九百十一貫なりしもの四百十萬五千四百九十四貫目あり米は八百十四萬二千八百五十二石なりしもの九百八十八萬七千四百二石に增加したるに係はらず市場に出荷するもの昨今甚だ寂寞なるが右は畢竟從來小作人が納稅したるもの今年より地主に變じたる結果地主が賣ゐざると金融組合の流通資金が多少增加したると恩賜金のために一般に稍資金の豐富なると更に世上平穩にして穀類の放賣を敢てせざる等に歸因して賣惜しみつゝあるに外ならざるも明春に至りて價格折合ふに至らば出荷旺盛なるに至るべしと云ふ

●總督の着京期 寺內總督は廿二日歸任の筈なりしも同日釜山より馬山地方に赴き鎭海灣軍港其他附近地方狀況視察をなすことゝなり其の結果京城着は廿四日頃なるべしと

●普通學校增設計畫 既設及未設の普通學校は總計三百二十九個所にして內本年迄に設立せられたるもの二百三十四なるも豫算の都合上補助を受け居るは二百校にして殘餘は補助を給すること能はず已むなく地方廳に於て維持し居れる有樣なるが尙來年度に於ては補給增設を爲すべき計畫ありと

●各道の學事視察 京畿道、江原道、咸鏡南道の學事狀況視察のため學務局にては約二週間の豫定を以て過日廣田囑托を出張せしめたるが同氏は陸路元山に向ふべしと

●內地朝鮮留學生數 韓國時代より引續き官費を以て派遣せる鮮人內地留學生は現在二十五名あり其の所屬學籍は明治大學一人東京高等工業二人同高等商三人帝大七人熊本第五高等學校一人福岡醫大一人熊本高等工業二人東京甲種農林學校一人千葉醫專三人東京高等師範三人大坂高等工業一人にて尙當年更に十七名を派遣せるが其の學籍は未だ報告に接せずといふ

●露領出稼勞働者 露領沿海州及黑龍江州地方に要したる勞働者にして官營事業に從事したるは昨年は淸國人朝鮮人最も多數を占め本年は政府が露國人の移住を獎勵したるため露國勞働者多數に上りたるも市營及個人の起業は依然として亞細亞人多數を占め居る由にて其勞銀は一日一留乃至三留なりと云ふ

●郵便局所の增設 朝鮮の通信機關は益々整備されつゝあるが目下全道の郡衙所在地にして未だ郵便局所の設立なきもの京畿道の陽川、咸南の三水、全南の大靜、旌義、江原の平海、咸北の興寶、忠北の永春の八ヶ所にして之れ等も明春早々開設さるべしと

●聯合會議事報告 既報の如く京城日本人商業會議所にては深水副會頭在鮮商業會議所を代表して東京に於ける第十八回商業會議所聯合會へ出席歸京したるを以て臨時總會を開催し深水氏其の顛末を報告すべきところ目下年末に際し議員各自多忙なるを以て來春迄總會を延期したるを以て取り敢ず廿一日右聯合會議顛末を謄寫版刷となし議員一般に報告したり

●木浦榮山浦の航路 從來釜山高羽商會と共同にて元山西湖津及新浦間の航海を營み居りし松尾某は其所有汽船多津丸を木浦に廻航せしめ木浦榮山浦間の運漕業を開始せりと

●移住漁民の狀況 內地漁民にして朝鮮に個々的移住するものは其沿革最も古しと雖も其集團的移住をなすに至りしは三十七八年の戰役後に起りしものにて未だ歲月を經過する少なしと雖も年々增加し四十二年度に於ては漁村數四十三戶數千三百二十八人員四千九百四十九なりしが四十三年度には四十五個所千六百五十六戶六千二百七十七人に增加せり尙四十四年度は未だ調査に至らざるも增加の趨勢は歷然たりと

●道路擴張の請願 豫て京城民會及商業會議所に於て可決したる道路擴張請願書は二十一日深水副會頭より當府廳を經由し寺內總督宛請願書を提出したりと

●穀物の最近相場 最近に調査したる朝鮮主要地の米穀類平均相場を聞くに籾上五圓五十八錢中五圓十五錢下四圓四十六錢平均五圓六錢玄米上十一圓八十九錢中十一圓四十二錢下十圓九十六錢平均十一圓四十二錢大豆上六圓四十錢中六圓十三錢下五圓八十六錢平均六圓十三錢大麥上五圓四十七錢中五圓十三錢下四圓九十一錢平均五圓十七錢なりと云ふ

●郡守の定例昇級 各郡郡守の昇級するもの約五十名にて既に總督府の詮衡を終り內閣に廻付中なるが多分年內に發表さるべしと云ふ

●京畿道の織物業 京畿道管內に於ける織物中從來より少く見るべきものは朔寧、麻田、驪州等に於ける明紬にして其他格別の產出なかりしが近來は水原、京城、交河、江華等の地にて木綿及瓦斯織業に從事する者多く殊に水原の如きは個人にして機織所を設け七十餘名の職工を使用し盛んに機業を營みつゝありと云ふ

●京城府內官有財產 京城に於ける官有產財中土地は約三百卅約六十萬坪にして建坪五萬餘坪ありと云ふ

●鎭南浦の貿易趨勢 鎭南浦港十一月中に於ける輸移出貨物價格は二十四萬八千四百九圓にして前月に比し七萬五千四十六圓を增し前年度同期に比し十九萬一千二百六圓を減じたり前月より增加したるは米豆石炭等にして前年同期に比し減少したるは大麥、小麥、鐵鑛等なるが麥類は內地相場下押の爲め引合はず却つて北鮮方面への回漕を見たり鐵鑛は降雨頻繁にして產出思はしからず而して輸移出を通じて前年同月に比し多大の減少を示したりと

●民團會計檢查結了 去る十二日以來總督府地方局より出張檢査中なる當民團會計檢査は二十一日を以て略ぼ結了したりといふ

●量水標の破損 朝鮮西岸萬項江及東津江航路に於ける左記量水標は破損流失したりと
萬項江五峯量水標△同上同大浦△同上新倉津同△同上立石里△同上東芝山同△東津江文浦同

●大阪商船と大邱 大阪商船會社にては今回大邱に出張所を設置し出入貨物の運漕取扱ひを始めしが其の成績頗る良好なりと

取引所設立賛否意見（四）

▲久能漢湖農工支配人（承前） 又た取引所取引なるものが定期に依り價額の差金の取引に終る場合往々なるより俗に一種の賭博場なるかの如くに解せらるゝに至るも全然理由なしとは稱し得ぬが而も之れあるに依つて最も確實なる商人にして尙ほ是非取引所に依つて其の商業の安固を圖らねばならぬ場合がある例へば今茲に質實なる一商人が在つて多數の米穀を買入れたとする其の場合彼は其の現物を定期に依り先賣を試みて置く而して其の時期に至つた時に實際の米穀を現物相場に照合して其の差金を拂ひし方利益ありと見れば差金を支拂ひ又た現物を手放す方利益多しと見れば現物を手放し以て假令損失を多くさしても至極僅少の損失にて足り斯くて安全に其の營業を營み行くことが出來る尙は又たプールス即ち株式の取引所に至りては之れ在るが爲めに各種有價證券の時價が一定し其の所有者等は隨時隨意に容易く之れを賣買するを得且つ自然世間一般に於ても亦此等有價證券の買入をなすに當つては其の何時にても一定の現金に賣却し得るを以て何等の懸念なく買入れに從事することが出來る彼の一部尙早論者に依つて唱へらるゝ京城には取引所の設立を必要とする程の有價證券が存在せぬから云々との議論は即ち取引所が設立されたとして其の取引所に引合ふか引合はぬかと云ふ問題に對して爲さるべきもので決して京城取引所無用論とはなり得ないのである而して我輩は無論京城取引所必要論者であるが一言斷つて置きたいのは株式組織にしないで會員組織としての取引所を設立したいと云ふことである蓋し取引所を株式組織となすに於ては其の取引所の株券は之れを內地の例に徵して明かなる如く他の諸株券に比して高價なるに至る傾向を有し株主は唯其の株券を目的として取引所を經營するに至り種々の弊害を釀成し易いからであるので此等の點から觀て會員組織即ち眞に取引其の物に從事したいと希望する人々のみに依つて取引所を設立したい現今の現物問屋組合の如きものを以て直ちに公開の取引所とし其の會員たるものが全責任を以て之れに從事することを條件として一日も早く京城に取引所設立の許可されんことを希望す云々

▲竹山一銀支配人 曰く取引所設立問題ですか其の設立請願書の內容なるものに就いても未だ研究したことがなく自然米穀を主とするものか現物株券を主とするものか或は雜穀をも取引物件とするかさへ明かでないので無論纏つた意見は述べ難いが米穀にせよ現物賣買にせよ果して京城に取引所を設立する程の必要があるでせうか殊に株券の如き京城に存在する額が幾許あるかを想像して見ても決して取引所設立を急にするの必要はないやうに思はれる兎に角何れかと申せば私は京城取引所設立は未だ尙早に失すと申し上げるの外はないのです云々

●送迎會と忘年會 既報京城新聞通信記者團にては二十日午後六時より大坂每日特派員豊田山口兩氏の歡送別を兼ね忘年宴會を花月樓に於て開催したるが來會二十餘名岑岸本社長の挨拶に次で豊田山口兩氏の謝辭あり後忘年會に移り十二分の歡を盡して散會せしは午後十一時なりし

●太田煙草試作成績 別項太田煙草試作場煙草試作成績の報告によれば本年試作したる種類は朝鮮種日本種、米國種の三種にして其成育狀態の比較を見るに

▲發芽の順位 は實其ものゝ性質が其地の氣候風土に適應すべき性質を有し又朝鮮種最も早く米國種之に次ぎ內地種最も晩き傾向あり發芽より四週後移植當時に於ける苗狀に就ては健康狀態相等しきも內地種、米國種の生育整一なるに比して朝鮮種は一段不整の姿を呈し苗丈は日本種中の「出水葉」二寸三分を一位とし米國種、朝鮮種共略ぼ▲伯仲の間にあり而して葉數に於ては朝鮮種の十一枚を最多とし日本種最も下位に居れり▲又移植後三週間目の生育調査によるに其の幹丈朝鮮種中本州葉の三寸一分を首位に置き日本種中出水葉の二寸六分を次とし外國種は容易に展伸せずして下位にあり然れども其の幹周は反て反比例を示し日本種秦野葉の一分二厘を除きては▲米國種と大差なく▲朝鮮種は殊に揃ひて甚だ劣れり其の葉質及生育の整否も、米國種最も優良にして朝鮮種最も不同なり續いて五週間目の成績を比するに其幹丈に於ては依然として朝鮮種最好く長伸し『茄子草』の一尺九寸五分を第一に日本種秦野葉水府葉の九寸六分を第二に、米國葉の『ベスター』第三位に居りて僅かに六寸五分を全長とせるも其の幹周に至りては米國種最も好く肥大し『ベスター』葉の二寸三分を始めとし優劣の差少く一樣に發育整備せりと

●平南學校林規程 平安南道にては今回訓令第七十號を以て學校林植樹規程を定めたり

●大田煙草試作成績 總督府にて經營せる大田煙草試作場の狀況を紹述せるもの大田煙草試作場の位置及土性より說き起して耕種及乾燥の概略黃色葉火力乾燥室の設計生育乾燥期間の氣象苗床構造種肥料畦株間等外數項に亙り大に當業者の參考に資すべし

●商議々員の缺員 明治屋支店主任三上林太郎氏は今回大坂支店詰を命ぜられ其後任として松本新太郎氏來着されたるが爲めに當地會議所議員に新に一名の缺員を見るに至れりと

●小松長官の出迎 小松總務部長官は二十一日朝南大門驛發寺內總督出迎の爲め釜山及馬山へ出張したり

●山根囑托の東上 衛生囑托たる山根正治氏は議會に臨場の爲め廿二日朝出發東上の途につく筈なるが年末年始に於ける議會休會中は再び渡鮮すべしと

●三浦分隊長赴任期 憲兵司令部付たりし三浦中尉は今回憲兵分隊長に補任せられ黃海道警務部へ轉任せしが廿六日頃赴任すべしと云ふ

●日韓瓦斯と運動場 日韓瓦斯電氣會社電車課に於ては冬期公衆の爲めスケーチング氷滑り運動場設立を計畫し目下頻りに場所の撰定中なりといふ

●青年會の家族大會 京城基督教青年會家族大會は既報の如く二十日午後六時半より京城ホテルに於て開催されたり來會者百餘名最初松本氏の報告に次で丹羽牧師宇佐美長官渡邊高等法院長グール博士の演說あり終つて餘興に移り其の間茶菓の饗應ありて散會せしは十時頃なりしと

公人私人

▲石川鹿五郎（釜山稅關鑑定官） 廿日入京不知火へ
▲宮家正義（參政課技師） 同開城へ
▲辰野金吾（工學博士） 廿日出發東京へ
▲內野久雄（製鍊所技師） 同釜山へ

▲京城平形交換高
十二月廿一日 金高 三三〇、四八二、二二二 枚數 六二八

▲治外法權▼

支那の革命にも前途の光明が段々見えて來た樣だ、只た夫れ王室と大總統とを並び立たせ樣と云ふ珍無類の政体で纏まりが附くかドウカは疑問だ▲袁世凱は親日人を東京に派し、大隈伯に就いて今後の政体如何を尋ねしめたソウだ、トコロが革命軍側に於ても絕えず人を大隈伯の許に派し、今後の政体に付いて尋ねつゝあるとの事だ▲今や早稻田大伯は官革兩側より指導者として仰がる、伯の一言や淸國將來の運命に關するところ大なりと云ふべきである▲寺內總督が大阪堺別樓上、同地の銀行家其他に向かひ、半島の經濟產業の狀態及び放資の事に付いて長廣舌を揮はれたことが、最近の大坂朝日に六號活字で出て居る▲アー朝日新聞の六號活字、开は何を意味するのであらうか、吉か凶か、而かも記者は、當夜の御客達が、總督折角の長廣舌に、六號活字的待遇を與へざらんことを望む▲一体半島の經濟產業の狀態及び放資などに關する報道說明は平素御用紙京日に因つて成されて居る筈だ、ソれなればこそ其筋では年々數萬の大金を同紙發行の爲めに費してるではないか▲トコロが事實は正反對で、今や寺內總督には大阪や京都で、人を集め、報道說明の勞を親らすると云ふ事宜に立到つた、コウなつて見るとモハヤ御用紙存在の必要はない▲序に言ふ御用紙が、昨今主力を注ぎつゝある記事は愚にも付かぬ現內閣政策の批判と、例の虎狩りとである、茲に於てか總督の心事の御用記者に解せられざる甚矣と云ふべしである▲工業傳習所が亦々四十餘名の卒業生を出した、記者は同所が故伊藤公の遺旨に基き益多くの卒業生を出さんことを望む▲同時に記者は同卒業生に因つて鮮人間に工業の智識が普及せられ、少なくも、亦た一日も早く、鮮人日用の近世的普通工藝品が鮮人の手に因つて產出せられんことを望む、思ふに現在の如く下らぬ工藝品まで母國に供給を仰ぐは決して半島を富ます所以に非ず▲本紙が紹介に勉めて居る取引所設立賛否意見は、ドツチにも相當の理屈がある、當局者は讀んで以て參考とすべしだ▲當地商議の副會頭深見某は自ら取引所設立發起者の一人でありながら、ナゼカ今度の認可申請が不成功に了るだらうなぞと言觸らして居るソウだ、認可不認可开は當局の意見に因つて決す、只た自信の無い深見如きが發起者中にあるのはオカシイ。

●輿論を後援とせよ

交河生

朝鮮言論界の振ふ可くして振はざる慨嘆に堪へず具眼の士堂々として大局を指導するの文は吾人不幸多く之に接せず聴く所枝葉の論のみ爲政當局又秘密蓋與主義の城壘を固守し斯くて朝鮮の思想界は意氣銷沈し暗黒裏に彷徨す、今日は夫れ如何なる時ぞ朝鮮を研究し朝鮮人を研究し新附の民族をして同化を遂げしめんとの大國是の道途に向て進みつゝある過渡期に非ずや言勿れ朝鮮は既に研究し盡し今や建設の時代に有りと勿論産業政策の如き序を追て進むべく政治機關の如きも着々布設實施せられ有るも如斯は難を避て易に就くのみ財力と時間との問題のみ吾人の意を安んずる所以の者に非ず。

夫朝鮮は言迄も無く日本人の鮮塾なり鮮人は當世に容れられん事を欲せば宜く進化學の原理に順應し新日本化し以て其身の保護色とするの大運命を有する者なる事を眞に痛切に感知するや否や随て從來の頑迷なる排他的憎厭心なる者が融和せられ同化渾一せられつゝ改善の途に向進せるや此點が即最困難なる根本問題なる可し

顧るに國家及國民が此土に向つて過大の心血を灑ぎ巨億の國帑を靡して惜まず時としては專ら懐柔策の爲めに用ひられ或は個人の犠牲となりたる者も又尠なからず實に今日に到る當局苦心の跡國民隠忍の状歴々見るべし然るに未だ以て親善的潮流の認めらるゝ者なく保守的排他心は依然牢平として抜けず新政を謳歌するの徒は僅に權力の下に直隷する者及内地人と利害關係の密接なる者の一部分に止るの現状に於ては吾人は遺憾ながら國家百年の憂患は未だ良醫の巨手に觸れざるものと悲觀するの外なし今に於て適當の配劑手術を施さずんば深根固蔕抜く能はざるの痼疾に陷らしめ折角善美の施設の如きも常に支障を免れざるは勿論却て他日永久の累をなさん

現制を訛ひ同化を妨ぐる病源は古來政權を擅りつゝ有りし兩班族が漸次參政權に遠けらるゝ不平なる事は最早決して疑を容る可からず鮮人は由來辭令に巧に虚榮心に富み他を籠絡するの嗜好を有し表裏反覆食言を屁ちず爲めに問題は紛糾錯雑なり獨り官憲の手腕に期待するの不便にして却て官臭を帯びざる人士の努力に待たざる可からざるもの多きに非ずや而して吾人の所見を以てすれば蓋與籠絡主義は斷じて不可なり何となれば大蛇の道は蛇なれば也其目的を達するは困難なればなり當局者は城壁を撤し此領土民の實情を五千萬の眼前に展開明説し大に言論を振興し人種的僻見を戒め輿論衆智を盡して之に當るの雅懐なきや若し能く斯の如んば敢て顧慮表を要せんや多くも居らぬ外人の意向を窺はんや（私益は輕重せよ便宜は與へよ然しながら）公なれ明なれ膽大なれ萬機輿論に決せんと誓はせ賜ひし維新の大詔勅は炳として日月の如く毫も時勢の推移の爲に消長す可き者ならんや矣

恩を仇なる人非人

▽淫婦みちと情夫吉谷

突然荒太郎に斬付けられたる澤藏は思ひも掛けぬ狼狽に驚き立ちて足袋跣足のまゝ何處迄もと追ひ來るを逃るゝに途窮し花町派出所へと飛込みたり。此本紙に曾つて『私が只今殺されます』と題し報道せし事件の眞相なりき。此節へに接したる警官は直ちに荒太郎を殺人未遂犯人として仁川署に檢擧すべき筈なりしも澤藏はみちを傷害したる過失あり且其一件が南部署に於て内濟示談にて事濟みたる折柄なれば自分の事のみ内濟にし他人の事は公沙汰となすは心に濟まぬ節もあり且は例令不身持なりし爲とは云へ現在自分の妻を傷害されしと聞きては一圖に邪となるも無理ならずと正直なる已が心に引較べて澤藏は仁川署に對し不檢擧を嘆願せしにぞ元より無事落着を希望する警察署にては前後の救援を再起する事なきを望はしめて事濟みとなしたるなりき。然るに一方荒太郎、吉谷等は中根が資産家なるよりみちが一旦南部署に於て示談解決すべき旨申立てたるにも拘はらず物にせんと企みたるものか本紙の記事中吉谷とみちと關係ありたるを非認しみちと吉谷とは一面識あるのみならず傷害事件の告訴を提起したり夫れと見など虚構の取消を申込むと同時に一方たる澤藏は大に驚き某々有力者を介して告訴を取下げんことの示談を哀訴せしに斯くあるべしと期待したる荒太郎等は告訴の取下げは其希望通りになすべければ

一萬圓を出て謝罪の意

を表示すべしとの返答に澤藏は自分の過失は然る事ながら一萬圓は法外なりとし關係者一同及彼が親戚一同を料理屋又は遊廓等に誘ひ誠意ある解決を告げんことを嘆願せしも大に見る所あるらしき彼等は言を左右に托して之れに應せず高橋辯護士を代理人とし堂々法廷に立つに至りたるなり。右に附きみちは檢事廷に於ける取調べに對し吉谷との關係を全然否認したるも比較的正直なる吉谷は檢事に對し其關係の成立動機其後の交情等一切自白せしより右に基き再取調べを受けし際漸く其關係を認め同時に自分は最切より自分の悲を覺り居れば告訴なぞの考は毛頭なかりしも兄

荒太郎の教

唆を受け據なく此告訴に及びたるなりと自白したるなりと。之を要するに事は荒太郎、吉谷等の不心得は言ふまでもなく澤藏も又た良くとみの如き妻を有し乍ら亂倫の所業に出でたること此原因を成したるを悟らば深く後日を戒むるの資となすべきなり(終)

京仁列車の脱線

▽原因は『取調中でムる』

二十日午後十時十六分南大門發仁川行き終列車が富平驛構内に入らんとする際誤りて瀬鐵車及荷物車脱線し立往生を爲したる椿事に仁川驛よりは直ちに救援列車を發し同驛より乘客及荷物の輸送をなし漸く二十一日午前一時五十分仁川驛に到着したり。因に乘客及荷物其他瀕車等には損傷なし原因は『取調中でムる』

春隣初音の行先

去る十四日釜山行の夜行列車で三名の婦人を乘せた人力車が[illegible]に引着けられた間もなく[illegible]張人力車で驅け付け[illegible]から一人を呼び出し[illegible]着振で東海道線沼津[illegible]した其の女と云ふのは新町龜鶴樓で腕を振つて居た源氏名初音事小松キミ(二三)で男は櫻井町に住む京日紙の所謂腰辨小役人○定平だ、さるにても妻子ある身で何故人目を忍んで彼のキミを逃るのかと云ふと龜鶴樓が破産の悲運に陷ると同時に抱妓はそれ〴〵他に轉せられる者もあつたが初音は自分の處へ禁も致し又殘分割引もして親類筋へ落籍され繁々通つて居た定平へ身の振り方を相談すると日頃鼻毛の有り丈けを讀まれて居た○の事とて妻子の有る身にも係はらず一議に及ばず引き受け持金策も出來て可愛い初音を首尾好く落籍させるのは落籍せたが妻子の手前や世間の義理合もあるので圍ふ處に困つて同じ櫻井町に住むで居る友人の加藤某に其の事情を明かすと加藤も粹を利かして他に家を探がす迄自分の内に世話する事とした、十四五日も經つと妻は其の事を嗅ぎ附けたので今度は西小門通りに秋山某の内に初音を引き移らせたが茲に又水標橋通りに河野某と云ふ男がある初音がまだ龜鶴樓に居た時分起證を取り交した定まりの夫婦約束をすると精樓の妻や子供を離別同樣鄕里に歸して初音の色香に溺れて居た際百五十圓の貸金證書を初音に渡して置いた初音は其の證書を持つた儘○に落籍されて仕舞つたので迷ひの夢は覺めたが大切な證書が欲しさに初音の隱れ家を探し出して[illegible]しからず秋山の宅に潜き止め『お前の爲めにモウ何にも言はぬが、地に返つて與れまい』と俺の男を立てる[illegible]書を返し[illegible]けれど初音は又も無斷で秋山宅も河野に同[illegible]書を取り返し定平に相[illegible]變した際初音は『本妻平と加藤及び初音は自モウ歸つて來ない』と[illegible]眼も鼻もない○は二三[illegible]かして本妻に迎ふる事[illegible]驛まで送つて行つたのを。

景氣好く監獄行

▽懷中に一錢を所持す

京畿道果川郡軍場内香川縣人藪下宗吉(二)は懷中一錢を所持し十一月二十[illegible]九日午後六時永登浦東仲町料理店權藤方に登樓藝妓の總揚を爲し十三圓餘の無錢遊興を爲せしより永登浦警察署に告訴され京城地方裁判所に於て懲役四月に處せらる

社告

鳥兎匆々歲月と相成本紙新年號準備に着々相近かづき申候就ては本紙新年號に御寄贈相成度各位に御願致度は其玉稿の

玉稿の御寄贈

に候其玉稿は本紙新年號に掲載すべき各位の御隨意たる美文たると詩、歌、俳句たるとは各位の御隨意に候而して本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年書附錄

本紙新年書附錄は本紙が特に斯書の大家川端玉章翁に依囑して成りたる

川端玉章翁勅題松上鶴

の親書にして其高尚優美なるは贅言を要せずと欲信候

十二月 京城新報社

火藥を脊負て歩く

▽危險極る男哉

大和町一丁目志岐縣人青森縣平民假[illegible]田重次(二)は十八日午後四時五十分頃無許可にて御成町井上眞次郎方より南大門驛迄火藥一箱を運搬せし爲め南部署に告發され科料金十九圓に即決

●鮮人強盜の就縛 京畿道通津郡生れ當時住所不定金春實(三)は仁川府內面安喜同(二)等と共謀し強盜を働きたる犯發覺し安は已に捕縛せられたるも金獨り姿を晦まし龍山方面に逃走し居たるが數日前より仁川龍洞二十六統七戶[illegible]に潜伏し居たるを仁川署刑事が探知し直ちに逮捕し取調の上二十一日檢事局へ送らる因に此奴は強盜を働き數十ヶ所を荒したる曲者なりと

●懲役一年で十五圓 龍山旭橋通り居住山口縣人左官職村尾關重(三)は龍山鐵道構內請負業新宮商行の請負に係る鐵道官舍修繕替工事の下請負を爲し工事材料に給與されしセメント四樽を賣却し十五圓にて賣却したること發覺し其の筋に告訴されしが京城地方裁判所に於て懲役一年に處せらる

●龍山の火事 二十日午後八時頃龍山櫻町七十五番戶山田伺次郎(三八)方にて漏突を焚き居りたるに誤つて失火したるが消防組直ちに驅付け消火に盡力したるにより同家一棟全燒にて大事に至らずして鎭火したるが一時は中々混雜せりとの事

●風呂敷から御用 去る十九日夜龍山分署の川添刑事及鮮人刑事夜警巡視中黃金町通りにて怪しき鮮人風呂敷包を携帶して徘徊するより引捕へ取調べしに洋木綿周衣外十數點各所より竊取し來りたる事自白せしより本署に引致し目下取調中

●二十一ヶ所を荒す 東京市牛込區南町二十番地當時南米倉町六十一番戶三村新吉(三)は十二月七日以降龍山元町二丁目吳服商梅西四郎方外二十一ヶ所に於て百二十七圓餘の物品を竊取し南部署に補はれ檢事局に送らる

●偽んさして科料 南山町二丁目二十六番戶富山縣人土方業小林勝太郎(三八)は二十日午前十一時頃より本町六丁目長廣常吉外十數名に對し依賴を受けずして收利の目的にて正日のメ飾を爲し報酬を強制せんとして南部署に告發され科料金二圓に即決

●泥棒しに大坂から 大坂府下東成郡平野鄕町當時住所不定中村信之(三)は本月十三日入京永樂町一丁目林幸三郎方に雇れ中主人の衣類數點を竊取し逃走南部署に補れ取調中

●洋紙を種の詐欺 福井縣今立郡鯖江町生れ當時住所不定茶谷一二(二)が京城長谷川町一丁目四十八番戶印刷業渡邊淺より金五十圓を詐取したる件は京城地方裁判所に於て懲役四ヶ月に處せられたり

●耶蘇降誕祭 旭町二丁目日本メソヂスト京城教會に於ては二十五日午後六時半より同教會にてクリスマス祝會執行せらるべしと云ふ

●桃山遊廓より 嗣風吹き荒む師走の今日此頃も茲は又別世界にて每夜[illegible]

▲同相應の遊野郎を吸收し居れりとか▲此程娼妓紀の國屋は兎角の評あれども此程更に業擴張案を立て元入船樓を合せて更に二十餘名の美形を移入して來春早々事業に着手する由だとは誤大層▲若梅樓の小文字は十九日無屆にて外出せし爲め警察署にて科料金五十錢に處せらる▲右は娼妓自ら市內に出で、客を吸引せん心算にて科料金などは度外視して更により大なるものを利せんと欲する計畫ならんか▲一樂樓の朝妻は今回病氣にて總督府醫院に入院したり誤親類筋は早速見舞はるべきが當然なりと察せらる以上是れにて擱筆余は後便にて(淡江の鯉)

花柳界だより

▲昨紙所報の如く長唄好嗜會は淸華の三太、きくや文之助、花月の勝利を代表として行旅病者收容所へ對し納會の經費殘金を寄附した二宮主義で預金通帳や爲替の控を殖すことにのみ一生懸命の旦那方『アー感心だなア』なんて白ばくれて居ずに『民の物は民に返せよ』エーオイ▲玉家席のい京は『權ちやんは酷い、梅鉢ならば浮名所か一若勞しても可いけど』と盛んに愚痴る、梅鉢さは誰れだらう▲淸水席の松吉曰く其旦那樣があれば此の苦勞は致しませんと試しやかに囀るのが小憎らしい▲玉家の梅之助は當り障りのない如にと撰りに撰つてた古い所の『小杉さんに宜しく』▲掬翠の右女助は未だに鄭病朝伊達子は妾しや子供の生れだから來年の所へ行く氣で居るのだとサ▲玉家のこそはチヨロリ〳〵と鼠が物を運ぶ樣に稼いで蓄財のだと都合の好いことを申す▲淸華亭の三次は『妾にはドウも旦那が付きませんが決して不思議に思つては居りませんよ、諦めて居ますから』と、左樣だ〳〵人間は何でも諦めが肝腎だ(すゞめ)

平民文庫

▲本日の當欄は小僧の獨擅場とする皆家諸君此を諒せられよ▲お許を蒙つたものとして罷り出でた拙者が即小僧で御座る。ナニ大きな小僧だと仰云るか、然らばお答へ申す『大は小を兼ねる』ブフツ、『總督は兵士の代にならん』さ、夫は餘りに懸隔があり過ぎる、兎に角無駄を仰云らずに▲扨本日小僧に究て、三多摩生及德利龜屋の二子が下の如く質問し來された、曰く▲本日の京城日報に『江戸ッ見會』なるものを發起する人があると吾人江戸ッ見を以て任ずるもの大に歡迎せざるを得んやだ▲併し銘つて考ふるに拙者等は他人より『お國は何地』と聞かる、際に答ふるに『東京』なる語は其下に『府』とある可きを省略したるものなれば當然道般の『江戸ッ見會』なるものに出席の資格は無い樣に思はれる▲雖然、僕は東京に親むこと殆んど三十年なり此年數より言へば發起人三太、勝利、政子、江戸奴等の姐さん方と同じく『江戸ッ見』と稱するの光榮を有する權利のある如な氣がするが▲夫でも江戸でチャ無い東京で生れないから駄目でしようか▲質際の所三多摩生と名乘る私は東京日本橋在青梅の生れ▲德利龜屋と申します私は同じく東京三崎町在八王子の旅宿德利龜屋に生れたもので御座ります▲若しハア此れでも『江戸ッ見』でだがにやアもんだら俺等と同鄕の京城日報社長の吉野太左衛門ごんも嘸かし殘念たつぺね▲と殘念無念に察しは申すが『江戸ッ見』若くは『東京ッ見』として市を利かし得る定義は三代土着の者に限ると云へば氣の毒だが止を得ん▲況んや吉野君に至つては熊本縣人會に席を列して居るに於てをや〳〵左樣でしたかと吃驚なさい▲と云ふ小僧の田舍は何地だと訊かれると恥かしいが矢張り其日本橋在本町二丁目何とかと消防夫や二番に限ると唄はれた豆腐に閑子の纏下です▲火消やァめ組に限らねえんだと申して置いて扨▲座うしたらば京城で家賃の安い家に住むことが出來るかと云ふ京日紙の懸案に鐵挙を下して試やう▲役人となつて官舍又は官舍料を貰ふ能はずんば德富氏に倣ふて空屋に潜入せよ▲諸君にして更に妙案あらば示敎を吝む勿れ▲問題は未あるけれど此は一ザと云ふ時迄お預り(小僧)

廣告

第四十八號 公告

一、朝鮮語著者吉田英三郎殿ヨリ當民團立小學校ヘ寄附相成候條此段公告ス

右

明治四十四年十二月二十日

京城居留民團役所

●生徒募集

本校附屬臨時小學校敎員養成所生徒若干人ヲ募集ス其ノ詳細ハ十二月十二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

明治四十四年十二月

朝鮮總督府中學校

名士貴婦人訪問記

穩健にして有益なる雜誌（同社は有名なる婦人世界及實業の日本等を發行せられ常に青年子女の指導に務められつゝあり）實業の日本社々長

增田義一氏令夫人の談

東洲生

大層御盛大で結構でございますね化粧の話といつて私には別段な意見はございません。私は性來脂肪が多いものでございますから從前から糠が嫌ひで風呂に這入ります時には、彼の小麥から出る麩を使用つて居ました、此習慣が小さい時からですが、袋に包んだり何かするのが、眞に面倒で、夫れがクラブ洗粉ですと、其儘使用が出來ますから近來は面倒のないクラブ洗粉を一番喜んで使用つて居ります、糠ではドウも私共の樣な脂肪の多い者は、垢が十分に落ちないやうな心持がいたします、夫れが麩を使用ふと悉皆取れるやうな氣持がするのですが、クラブ洗粉を使用ふと、丁度麩を使用つたと同じ樣な宜い心持が致します計りでなく香ひも高尚で至極結構でございます能く世間の人は石鹸を使用つて顔を荒すとか申されます樣ですがクラブ洗粉は澤山使用つても決して左樣なことはありません、モー一つクラブ洗粉の特長を申しますれば、使ひかけて永く置いても決して質の變らないのが他の洗粉に比較べて大層宜い樣に思ひます。白粉は私は以前他の白粉を使用つて居りましたが、近頃はクラブ白粉ばかり使用つて居りますと大變宜い樣でございます、それに私はクラブ化粧水を好んで居ります故、クラブの煉白粉を化粧水で溶いて使用つて居ります。無論普通はクラブ水白粉で結構ですが、白襟の衣裳でも着る時には襟首が餘り黑から煉白粉を使用つて居ます云々。

小川一眞氏令夫人のクラブ化粧品實驗談

（小川氏は吾が邦寫眞界の泰斗令夫人は維新の元勳板垣伯の令嬢なり）

私はクラブ洗粉の實驗者で、常に受用して居ります。洗粉も昔は豌豆で製したとか聞いて居りますが、クラブ洗粉は何で製造される事か知りませんけれど、何れ現今の進步した科學的研究を積まれ、衛生に適し無害にして且つ垢や脂肪のよく除れる材料を使用されて居りませう、私などの實驗によりますと他の洗粉は使ふとドウもヨレテ心持が惡い、クラブには決して夫れがないのが先づ第一に喜ばしい點ですさうして使用した後は、サッパリとして誠に心持が宜い又白粉の走りも至極工合が宜しい樣で、殊に久しく箱の口を明けて置いても餘り變質粉にならないでヨレル憂ひのないが何よりと思ひますクラブ粉白粉も折々用ひて見ますが是れも結構の樣に思ひます。尚湯上りの時など、汗の多く出ます時、打粉白粉を用ひますと、サッパリとして氣持の宜いばかりでなく皮膚の清潔をも保ち、併せて垢のつくのを豫防致します。

旅行家として足跡天下に遍き某博士は曰へり

汽車旅行に於て機關車より吹き送らるゝ煤煙ほど不快にして且不衛生なるものはなし、しかも客車には洗面所の設備あれど、其處に備へ付けられたる石鹸は此等の煤煙を洗ふ爲めには實に効力が薄い、故に余は經驗の結果により旅行には必ずクラブ洗粉を用意す、蓋し煤煙の汚れ等に對してもクラブ洗粉は最も有効なりと。
